



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.63



10月

発行 / 社団法人国際観光施設協会
総務委員会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2-8-5 多幸ビル九段2階
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845
E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp
U R L : <http://www.kankou-fa.jp>
.....
2007年10月1日

観光と安全・安心の社会

副会長 平田 純一

今春、グループで北アフリカのアルジェリアの観光に行く機会がありました。アルジェリアは今まで治安があまりよくないとのことで、観光旅行は途絶えていたようですが、近年再開されて観光客も少しずつ増えているようです。古代ローマの観光資源も多く、観光客の増加と共にビジネスも盛んになっており、主要都市は活気に満ちていました。

今回の旅行では、チュニジアから陸路で入国したのですが、通関が終わると観光バスの前後に、自動小銃を肩にかけた兵隊さんが8名、2台の乗用車に分乗して護衛しながら目的地まで誘導してくれました。

これは、入国の日のみならず、首都アルジェの空港を出発するまで同じ状態でした。「ここは地の果てアルジェリア」の歌の文句で有名なアルジェのカスバ（世界遺産）も、徒歩で自由に見学できるのですが、前後左右に護衛がつく状態でした。とは言っても、観光の内容自体を制限することは一切なく、あくまでも護衛に徹していました。

普段はあまり安全・安心について考えることは少ないのですが、このような体験をすると、日本の治安がいかによいかがわかります。

アメリカ人でデュポン日本法人会長のドナルド・ジョンソンさんは、「個人の安全が確保されていることは、日本を訪れる人々の羨望（せんぼう）の的であるが、来たことのない人にはまず理解できないであろう」と言っています。（2007.9.11 日経夕刊 Nippon ビジネス戦記）

その根底には「アメリカ社会が銃を所有する個人の権利の方に高い優先順位がある」のに対して、日本では社会全体の「安全で治安のよい環境」づくりをめざしていることとの差にあると見ているようです。

個々の観光地を訪問して頂くことは、ビジット・ジャパン・キャンペーンの大きな目標ですが、安全・安心の社会を見て頂くことも大切で、安全確保システムを維持している警視庁や交番も、第一級の観光資源になるのではないのでしょうか。

技術委員会の活動

技術委員長 鈴木 裕

技術委員会にはホテル都市分科会、旅館観光地分科会、インテリア分科会が所属しています。各分科会はその分野での観点から、観光にとって重要と思われる空間および施設の調査研究、提言をおこなっています。

技術委員会は各分科会の活動内容の情報交換を行うことで調整する委員会です。今年はインバウンド客の増加を促す観光交流空間および観光施設の魅力度アップのための研究を目指していきたいと考えています。

ホテル都市分科会では、「ホテルの安全」をテーマに安心・安全に裏付けられた観光施設のあり方を研究・発表していきます。昨今の世界的関心事である安心・安全は、観光地の魅力度をはかる基本的要件となっています。

旅館観光地分科会では、「温泉地の活性化を目指す観光交流空間の研究」をおこないます。具体的には鬼怒川・川治地区の温泉まちづくりの研究を通して観光交流の活性化へ貢献ができればと考えています。

インテリア分科会では、観光資源として重要である「保存が望まれるインテリア空間」の調査・研究をおこないます。堀商店・樽バー等、身近で貴重なインテリア空間から研究をすすめていく予定です。

各分科会の活動内容はその都度、協会情報誌「観光施設」に発表して行きたいと思いを。

皆様のご意見を頂ければと思っておりますので宜しくお願いいたします。

建築部会活動報告 森 一郎

新丸の内ビルディングの施設見学会を4月に三菱地所設計のご協力により開催し、多数の参加者に好評でした。また7月には当協会の涌井副会長が「上海万博から見える都市の中心と周辺問題」をテーマに自由学園明日館で講演会を開催、愛知万博総合プロデューサーの実績をふまえ、84名の参加者に感銘をあたえました。8月にはペニンシュラホテルの開業前見学会を設計者をパネラーとして迎え開催しましたがホテル側要望で限定50名であったため、多くの参加希望者にはおことわりする事態になり、今後機会があれば再度の見学会がまたれている状況です。11月には東京駅八重洲口再開発について、サピアタワーホテルで見学セミナーを予定しています。

設備部会の活動報告 横山 豊

設備部会は幹事17名でほぼ1.5ヶ月毎に幹事会を開き、協会の活動内容の啓蒙、設備部会活動計画、ホテルリニューアル診断マニュアル作成などを行っております。また会員増強キャンペーンのため、増強特別委員会に積極的に協力し会員獲得に努力しております。施設見学会は10月3日(水)に六本木に設置された延面積48,000㎡、展示面積が国内最大級の国立新美術館の施設見学会を開催します。施設の説明に建築側及び設備側からの説明があり、施設見学の後の懇親会も予定しております。また恒例のホテル・レストラン・ショウでは今年度は新たなテーマを企画し、無料相談コーナーの開設などを企画中です。

インテリア部会の活動報告 佐藤 英嗣

今年度もインテリア部会は5グループにて全員参加と交流をモットーに活動。10月22日にセミナーを下記の通り開催いたします。施設見学は、睡眠をコンセプトとしたホテルレム日比谷を1月下旬に見学予定。リノベーション・コンバージョングループは改修され装い新たなホテルの施設見学を予定。会員企業見学は見学対象企業の募集をしております。その他、インテリア部会の会員によるパネルディスカッションの企画を検討中です。

インテリア部会セミナー 予告

今年度のインテリア部会セミナーでは、一級建築士であり紀行作家、写真家として活躍されている稲葉なおと氏をお迎えいたします。

開催日時：10月22日(月)16時～19時30分

会場：松下電工株式会社 東京本社5階ホール

講演：『名建築が活きる宿、朽ちる宿』

事務局からのお知らせ

<忘年交歓会 開催予告>

年末恒例の忘年交歓会が12月6日(木)「ホテルグランドパレス(九段)」にて開催されることが決まりました。詳細は別途改めてお知らせいたします。

<企業見学受け入れ先募集中>

インテリア部会企業見学チームでは異業種企業見学会を企画し、新しい発見や企業経営の一端に触れることを目指しています。会員企業のPRの絶好の機会になり会員相互のメリットにつながる事と思われまます。このチャンスに是非名乗りをあげてください。

新入会員紹介 (入会順)

[メーカー] 東西化学産業株式会社

(代表者)代表取締役 (担当者)常務取締役
河野 眞一郎 藤森 篤
〒540-6118 大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21MID 7F-18 階
TEL06-6947-5511 FAX06-6947-5510
業務内容：水処理装置・薬品の販売

[個人] 川辺 三樹 (OFFICE MMK)

〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-18-310
TEL03-5733-2031 FAX03-5733-2031

[メーカー] 日本陶業株式会社

(代表者)代表取締役社長 (担当者)営業部 顧問
深谷 重信 久田 利張
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町43-9
TEL03-3667-5928 FAX03-3667-4827
業務内容：タイル・ブロック工事業、輸入及び窯業製品の販売
HCR - Kシート販売、管工事業・石工事業

[メーカー] ゼンテリア株式会社

(代表者)代表取締役 (担当者)機械部 部長
佐村 健 吉田 隆
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-5 新四谷駅前ビル
TEL03-3358-7310 FAX03-3358-7315
業務内容：エクステリア・インテリア資材、住設機器の施工・販売
リニューアル企画・設計・施工

交流部会第91回「ゴルフ会」案内

第91回ゴルフ会の開催は11月16日(金)春と同じ「千葉CPGカントリークラブ」にて行います。詳細は後日ご案内致します。

♥編集後記♥

公益法人の新しい制度が平成20年12月1日に施行されることが正式に決まりました。20年春頃までに制度の運用のための指針が策定されるとのことですので、具体的な作業はこのガイドラインが発表されてからになります。協会では新公益法人移行準備委員会を発足させて検討に入っています。まずは協会の公益事業がどこまで拡大出来るかがポイントになると思いますが、更なる協会の躍進に全員で知恵を出し合っていきたいと思っています。

Y.K